

事務事業マネージメントシート

作成日 平成24年 05月 14日

事務事業名	栃木S C支援真岡市実行委員会支援事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係					
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり					電話番号				
施策名	4	生涯スポーツ・レクリエーションの振興					<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業				
基本事業名						事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				
法令根拠							<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成20年度~)				
予算科目	1.一般会計	10.教育費	5.保健体育費	1.保健体育総務費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)						

目的 真岡市は、「市民ひとり1スポーツ」をスローガンに体力の向上に努めています。特に、スポーツを通して青少年の健全育成を図ることは、必要不可欠なことと考えられます。栃木S Cの豊かな経験と卓越した技術をもとに、本市子どもたちに夢を持つことの大切さ、フェアプレー精神の重要性など、直接触れることで伝えられるとともに、栃木S Cの支援、更に、本市のPRにも貢献できることから実施する。

事業内容 栃木S C支援真岡市実行委員会を組織する。

・少年サッカー教室の開催(栃木S C選手による指導及びサイン会)

・真岡市民デーの開催(栃木S Cのホームグラウンドでの公式戦観戦及び真岡市のPR・物産販売等)

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動) 23年度実績 実行委員会の開催 少年サッカー教室、指導者の講習会 真岡市民デーの開催	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
24年度計画 前年度同様	ア 交付金額	千円	700	500	400	400	400
	イ 実行委員会開催数	回	2	2	2	1	1
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 実行委員会 児童	ウ 少年スポーツ教室開催数	回	1	1	1	1	1
	エ						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) サッカーを通して、少年スポーツ人口の底辺拡大を図る。 市民デーの開催により、真岡市のPRの場となる。	オ						
	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか) 市民ひとり1スポーツ及び少年スポーツの振興	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 児童・生徒	人	5906	7236	7174	7157	7134
⑤上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移 市民ひとり1スポーツ及び少年スポーツの振興	イ 実行委員会の人数	人	15	15	15	15	15
	ウ						
(2) 総事業費の推移	エ						
	オ						
⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移							
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移 市民ひとり1スポーツ及び少年スポーツの振興	名称	単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	ア 市民デー参加人数	人	231	225	292	344	350
⑨トータルコスト(A)+(B)	イ 少年サッカー教室参加人数	人	279	196	144	192	200
	ウ						
⑩トータルコスト(A)+(B)	エ						
	オ						
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等							
⑪この事務事業を開始したきっかけは何か? いつごろどんな経緯で開始されたのか?		栃木S Cは、市民密着型のクラブチームを目指して、市民デー等の事業開催を各市に呼び掛けている。 栃木S Cより要請があり、実行委員会を組織して、少年サッカー教室及び真岡市民デーの活動のため、市より交付金が交付されることになった。					
⑫事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?		認知度は上がっており、参加者は増加傾向にある。					
⑬この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?		参加者へ記念品についての要望がある。					

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民ひとり1スポーツの振興及び心身共に健全な少年スポーツの振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民ひとり1スポーツの推進、少年スポーツの振興及び真岡市のPRは、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 生涯スポーツの振興を図っている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある スポーツの底辺拡大及び真岡市のPRを図っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 市民ひとり1スポーツ振興が图れ無くなり、そして真岡市のPRの場が無くなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 交付金のみであり、必要最少限の経費である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最少限の人件費であり、削減余地はない
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 実行委員会は、市の交付金及び団体の協賛金により運営されている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客觀性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客觀性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客觀的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="ghost"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）																								
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																								